

第15期 事業報告書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

法人の名称 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

1 事業活動方針

不登校ないしひきこもりなどを経験したため、またはその状況を継続しているために、一般的な就職などによる社会的自立が困難になると予想される、または現実に困難になっている青少年（以下 青少年）に対して、それらの状況から脱却する機会を提供し、かつ社会的自立を援助する活動として、社会参加上、重要な共同生活及び模擬的な就業体験の場を提供することに関する事業を行い、各人の個性に応じた社会的自立への機会を獲得することに寄与することを目的に活動を展開していった。

今年度はいくつかの新しい取り組みが始まり、さらに関わるこども・若者の年齢層や課題の幅が広がりを見せた一年であった。

まず、これまでの共同生活事業を移行し、「自立援助ホーム K2ハウス寮・オラシオ寮」を開設し、最初の4ヶ月は毎月新しいメンバーがホームに入り、児童相談所や関係機関の見学などが続き、落ち着かない日々が続いた。ようやく一年経って、ホーム利用の流れを把握し、児童福祉の分野で課題となっていることについても理解を深めることができてきた。これまで培った経験が十分に活かされる分野である一方で、保護者がいないメンバーも多く、その子達を受け止めていく仕事の責任の重さも感じている。今後、ますますK2グループ内の協力体制や他機関との連携が必要である。

また、金沢区では横浜市内全区で展開される「寄り添い型学習等支援事業」を受託し、支援を必要とする中学生の学習支援・生活支援を開始した。年度途中から準備が始まったため、本格的に稼働したのは最後の2ヶ月間であったが、次年度に向けての土台作りができ、年度末には登録者は6名になり、学習支援の形も整い、この事業を始めることで新しく出会ったスタッフが活躍する場にもなっている。

さらに、今年度も認定NPO法人として活動の支え手を増やすため、活動を具体的に伝える機会を多くもち、関係機関や関係団体と連携する中で共感を得ていくような働きかけに力を入れて取り組んできた。その中で自立援助ホームへの取り組みやホームを卒業するメンバーに対する継続的な支援の必要性について理解を得て、寄付金を頂くことができた。一方で、認定NPO法人としなってから会員数はあまり変わっておらず、正会員49名、賛助会員8名にとどまっているので、運営の安定をはかるためにも、次年度は正会員数、賛助会員数を共に増やしていきたい。また、地域のNPO法人や活動団体の相談を受ける事業も委託を受け、これまで自分たちが教えていただき、活動を作ってきたこと、支援を受けてきたことを必要としている方たちに送ってきたいという思いで本事業に着手している。また、神奈川県立保健福祉大学の学生のソーシャルワーク実習の受け入れもおこなった。

それから、事業計画に掲げた3つの重要課題については以下の通りである。

1. 切れ目のない支援の形

子育て期～学齢期～思春期～青年期までの途切れのない支援を心がけて取り組んできた。一人を支えるのに多面的な視点を持ち、具体的に今、必要なことは何かを問いながら、K2グループ内のスタッフだけでなく、専門機関との連携や地域の資源を活用しながら、支援の輪を作っていった。まずはどの年齢、どの段階で行き詰っても相談を受けられるような体制づくりが必要であり、特に学齢期や思春期の時期の相談を受けられるように不登校相談の窓口の設置や不登校セミナー、思春期セミナーを開催するなど相談しやすい環境づくりに努めた。金沢区での青少年の地域活動拠点や寄り添い型学習等支援事業では、中学生への支援の形にも厚みが出てきたので、今後さらに不登校支援やよこはま南部ユースプラザなどの活動ともつながっていくだろうと考えられる。

2. それぞれの場の強化

相談・居場所・共同生活・子育て支援・地域の活動拠点の場といったさまざまな部署があるが、それぞれの場でスタッフは「自ら責任を負ってチームで取り組む」姿勢を大事に、個々の特性を生かして働けるような環境づくりに努めた。日々、自分たちの業務の振り返りを行い、内部での研修に加えて、今年度は自由学園へ見学に伺い、学校としての取り組みやアフタースクールの活動の様子を聞き、いい刺激を受け、モチベーションの向上にもつながった。そこで得たヒントを持ち帰って日々の活動の中で取り入れた。また、自分たちの行っている事業に対しての振り返り、再評価にもつながった。

3. 支援の循環

自分が何によって助けられ、何によって支えられたかを考えて、その上で自分が何を助け、何を支えることができるかを考えて行動すること、つまり「恩を送る」ということが各現場で実践され、自分たちの不登校・ひきこもり経験を活かして働いているメンバーが増え、彼らが法人の運営を支えている。相談者としてつながったメンバーだけでなく、スタッフやボランティアとして出会ったメンバーもそれぞれができることを持ち寄り、助け合う形を作ることを意識して活動に取り組んできた。今後の課題としては、支援の循環を各現場から地域へと発信し、特に学童クラブや子育て支援の現場でも発信していくことである。

2 事業内容

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 社会参加基礎訓練等の場を提供するための寮施設兼生活指導施設の運営

① 児童自立生活援助事業 自立援助ホーム

- ・ K 2 ハウス寮、オラシオ寮の 2 棟を運営。
- ・ それぞれの自立を目指して、個別支援計画を作成し、生活面やメンタル面のサポートに加え、就業支援・職場への定着支援を行っていった。
- ・ 初年度ということでまずは形を整えながら、ホームの運営を行った。
- ・ 児童相談所の児童福祉司・心理士や関係機関と連携し、ケースカンファレンスや面談や定期的な連絡などを重ね、本人にとってよりよい支援の形を目指し、一人ひとりに対して具体的なサポートを継続して行った。
- ・ 高校卒業資格や運転免許等の資格取得のサポートを行った。
- ・ 全国自立援助ホーム協議会の研修や全国大会に参加し、国内の自立援助ホームのホーム長やスタッフとの交流や学びを深めた。
- ・ 横浜市社会福祉協議会の会員になり、児童福祉部会に毎回出席し、横浜市の関係部署や市内の児童養護施設やファミリーホーム、自立援助ホームなどとの情報交換や関係作りに努めた。

日時	通年
場所	K 2 ハウス寮（横浜市磯子区中浜町）・オラシオ寮（中区根岸町）
主な従事者人員	5 名
対象者	義務教育終了後～20 歳までの男子で、児童相談所が必要だと認めた者
定員	各寮 6 名 計 12 名／月
実績	年間のべ 39 名（年度末 K 2 ハウス寮 2 名・オラシオ寮 3 名在籍）

(2) 青少年とその保護者などに対する相談・支援

①不登校支援

- ・神奈川県から補助を受けて「不登校の青少年と家族の相談事業」を実施した。
- ・日常的な電話相談の対応、有料の個別面談を行った。有料面談よりセミナー参加後に無料面談を希望するケースが多かった。
- ・全12回の不登校セミナーを開催し、参加者には無料面談を行い、次につながるような助言や情報提供を行った。実際によこはま南部ユースプラザの利用やK2グループ内の資源の活用につながるケースもあった。
- ・神奈川県立保健福祉大学 小林正稔教授や神奈川県LD協会 温泉美雪氏、K2インターナショナルグループの金森克雄氏を講師に招き、各分野からの話だけでなく、質疑応答の時間も十分に取り、参加者からの話も聞くことができる会になった。
- ・寄せられた相談に丁寧な対応を心がけ、学齢期のうちに必要な支援につながるような流れを作っていく。

日時 火曜日～土曜日 11時～15時（電話相談）

場所 横浜市磯子区東町9-9 4階

金沢区洲崎町6-2

主な従事者人員 2名

対象者 青少年および保護者、関係者

②よこはま南部ユースプラザ

- ・相談窓口（電話、インターネット、来所）を開設し、当事者や保護者の第一次的な総合相談を受ける相談室の運営を実施。当事者や家族、関係機関からさまざまな相談が寄せられるため、K2グループの中核の相談窓口として重要な役割を果たしていた。
- ・ひきこもり状態からの回復期にある若者の居場所の運営。
- ・社会体験・就労体験のプログラム、就労支援セミナーの実施。
- ・横浜市内5つの区の関係機関、区役所との連携及びネットワークづくりのため、南部地域若者支援連絡会を開催。
- ・3機関連絡会等へ参加し、他機関との連携を深めるよう努めた。
 - *事務調整会議： 隔月に1回開催（偶数月の第3月曜日）
 - *3機関連絡会： 隔月に1回開催（奇数月の第3月曜日）
 - *保護者交流会： 毎月第3土曜日開催
 - *南部地域若者支援連絡会：平成25年5月30日（木）、9月25日（木）、平成26年2月27日（木）
 - *連絡会主催研修会： 平成25年7月25日（木）、12月13日（金）

日時 月曜日～木曜日 11時～19時

金曜日 11時～21時

土曜日 相談のみ開所

セミナー・説明会の際は居場所を開所。

場所 横浜市磯子区西町12-1号

根岸駅前第二共同ビル2階 206・208号

主な従事者人員 8名

対象者 青少年および保護者、関係者

開所日数 238日

来所者数 のべ8,291名

相談実績 面接相談 のべ1,108件・電話相談 のべ738件

インターネット相談 のべ461件

社会／就労体験事業参加者 のべ3,337名

③訪問事業（メンタルフレンド）

- ・ひきこもり状態にあり、自分では出て来られない、家族だけでは煮つまった関係になっている家庭にスタッフが訪問し、必要な対応をしていく。
- ・次のステップへとつながるようにチームで見通しを立て、支援プランを作成し、状況によって軌道修正しながら、家庭への訪問を実施した。両親を支える体制作りや訪問するスタッフの心理的なサポートを行いながら進めていった。

日時	通年
場所	コロンブスアカデミー事務局および訪問先
主な従事者人員	4名
対象者	ひきこもり状態にある青少年やその家族
実績	1件（4回面談・2回訪問・他、電話での相談対応等）

④金沢区寄り添い型学習等支援事業（横浜いろは塾）

- ・金沢区内の生活困窮や保護者が精神疾患を有している等の理由により、養育環境に課題がある家庭に育つ中学生に対して、学習支援・生活支援・総合的な支援を実施する事業である。今年度は12月から準備を始め、1月21日に開所した。1月24日には内覧会を開催し、金沢区長を始め、地域の関係者が34名来所した。利用の登録手続きなどに時間がかかり、実際に生徒が通ってくるようになったのは、2月に入ってからであった。登録後は、それぞれに自分のペースで通ってきて、学習支援を受け、週に2回の基本利用日以外も通ってきて自習に取り組むなど積極的に利用する姿が見られた。
- ・今年度は生活保護を受けている家庭に対して利用の呼びかけをしていることもあり、金沢区保護課・子ども家庭支援課と連携しながら、見学対応や生徒の受け入れのための準備をおこなった。

日時	火曜日～金曜日	15:00～20:00
	土曜日	13:00～18:00
場所	横浜市金沢区洲崎町6-2-5階	
主な従事者人員	3名	
対象者	養育環境に課題があり、支援を必要とする中学生および保護者	
開所日数	33日（26年1月21日開所～3月31日）	
登録者数	6名	
参加人数	のべ54名	

（3）青少年の自立に関する情報提供

①団体の活動の情報発信

- ・ホームページやブログの定期的な更新作業を行い、より新しい情報の掲載に努めた。
- ・団体の活動内容を広く知ってもらうため年2回KIAORAを発行する。KIAORAはホームページでも閲覧できるようにした。また、地域の各活動場所や連携先にも設置し、活動に興味を持った方に手に取ってもらえるようにした。

日時	ホームページの更新は随時
	KIAORAの発行 2013年9月・2014年3月
場所	コロンブスアカデミー事務局
主な従事者人員	2名
対象者	不登校、ひきこもり状態にある青少年とその家族、地域の関係機関・関係団体など

(4) 地域で子育てを支える場の提供・運営

①親と子のつどいの広場事業 子育てスポットくすくす

- ・横浜市補助事業として、乳幼児親子が気軽に集える居場所を運営。
- ・乳幼児を抱える親の日常的な悩みを解消し、学べる場やリフレッシュするための場を提供。
- ・参加する親子が参加者としてだけでなく、運営を支える当事者として育ち、ママサポーター、ママボランティアとして参加する人も増えてきたので、次の世代へうまく引き継いでいけるような流れを作ることを意識して活動を行い、流れはできている。
- ・日常の活動の様子や今後の予定をこまめにホームページ・ブログから情報発信を行うよう心がける。ブログの見にくい部分を改善するなど少しずつ改訂を行っていった。
- ・地域の関係機関・関係団体との連携を深める。今年度は特に磯子区内の子育て支援拠点と各広場との会議を定期的開催し、情報交換が活発に行われるようになってきた。

日時	月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所	磯子区東町9-9 2階
主な従事者人数	5名
対象者	乳幼児親子
開所日数	237日
来所者数	1929組 4002名 (一日平均 8.1組 16.9名)
一時預かり利用数	211件 計 453時間 (月平均 17.6件 37.75時間)
プレ教室参加者	登録 12組・のべ 451名

②磯子まつりイベント 秋の親子フェスティバル

- ・磯子区補助金を受けて、乳幼児親子対象のイベントを開催。
- ・「グルンパ」による音楽コンサートやプレ教室ぽっかぽかのダンス発表、縁日、「てがたあーと」などの催しを行い、地域の親子が楽しめるようなプログラムを提供。
- ・イベント運営には生徒や研修生も運営側スタッフとして動き、一緒にイベントを作り上げる体験を行うことができた。

日時	11月2日(土) 10:00～15:00
場所	磯子区東町9-9
主な従事者人数	4名
参加者数	乳幼児親子 62組 153名

(5) 地域の子どもの居場所の提供・運営

①金沢区青少年地域活動拠点

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営する。
- ・1階フリースペース部分では地域の中高生向けに駄菓子屋販売を行い、定期的にイベントを実施する。
- ・生きづらさを抱える若者を受けとめる就労研修の場としても機能していた。
- ・近隣の学校や他団体との連携を積極的に図り、今年度は金沢区民まつり「いきいきフェスタ」にも出店をおこなった。
- ・一年を通して、カラオケ店の個室の形のままで利用の仕方が限定されていた3階の改修工事を行い、壁を取り払い、広く開放的なスペースに変えることができた。来所する子ども達にも取り壊す前の壁に落書きワークショップや新しくなった白い壁面に顔文字をペイントするなどの活動に参加してもらった。お披露目会も実施し、入居団体や地域の人に見学して頂く機会をもつことができた。

日時	火曜日～金曜日 15:00～18:30 土曜日 13:00～18:00
場所	横浜市金沢区洲崎町6-2
主な従事者人員	3名
対象者	地域の小～中高生、地域の人たち
開所日数	218日
参加者	10,626名
入居団体連絡会の開催	4月26日(金)・6月28日(金)・8月30日(金) 10月25日(金)・12月18日(金)・2月28日(金)

②おーぷんはうすHAMA

- ・商店街の空き店舗を借りて、商店街の方をはじめとする地域の大人と通ってくる子どもとの交流の場、近隣に住む幼児や小・中学生が放課後に自由に立ち寄れる場所として運営。地域のさまざまな世代の人が入りやすい環境を作るように心がけ、開所していた。
- ・自主事業としてこれまで運営を継続してきたが、訪れる子ども達も減り、一定の役割を務めたということで、今年度限りで終了することとなった。

日時	月曜日～金曜日 15:00～18:00 (9・19・29日は休み)
場所	磯子商店街商業協同組合 浜マーケット (磯子区久木町20-4)
主な従事者人員	2名
対象者	地域の小・中学生(登録制)、地域の方 等
開所日数	222日
利用人数	のべ298名

(6) 放課後児童健全育成のための学童保育の運営

①ぽによぽによ学童クラブ

- ・横浜市在住のおおむね小学1～6年生までの児童で、保護者が仕事や病気、家族の介護のため、放課後に家庭での保育に欠ける児童を預かり、児童が放課後を生き生きと安心して楽しく遊び、学ぶ、豊かな育ちの場を提供。
- ・一人ひとりが第二の家として過ごせるような環境づくりに努め、また学校ではできない体験を多く取り入れることを意識して場づくりを行う。
- ・給食の提供を行うことで、食事の大切さを知り、家庭的な温かい雰囲気を感じられるようにする。
- ・日々のミーティングに加え、週1回、臨床心理士などの専門家を交えてミーティング・研修の時間を設定し、子ども達への具体的な対応を学び、よりよいサポート体制の構築のため、環境設定や保育の流れの改善を実施した。個々のスタッフのスキルアップをはかるための面談の他、今年度はメンバー全員で自由学園とその中のアフタースクールを見学に行き、学習の時間の持ち方やスケジュールの組み立て方などを参考にして、現場での取り組みに活かすことができた。

日時 月曜日～土曜日 11:00～20:00

学校休業日 7:00～20:00

場所 横浜市磯子区東町9-9 2階

主な従事者人員 4名

対象者 横浜市内の小学1～6年生までの放課後の保育に欠ける児童

開所日数 295日

登録人数 44名

のべ参加人数 7,908名

②ぽによ+

- ・自主事業として、ぽによぽによ学童クラブ（補助事業）では受け止めきれない保護者の要請に対して、一時保育や日曜・祝日・夜間・宿泊対応、年中児・年長児の預かり等を行い、働く親が本当に困った時に具体的にサポートできるような体制作りを行う。多様なニーズに応えることで、預け先がなくて困っている親の不安を取り除き、保護者も子どもも安心して利用できる環境づくりに努めた。
- ・一つ一つの事例を大事にしながら、その次に活かしていけるように振り返り、気づいた点や不備を改善しながら積み重ねて行った。

日時 終日（必要に応じて対応）

場所 横浜市磯子区東町9-9 2階、その他

主な従事者人員 3名

対象者 横浜市内の小学1～6年生までの放課後の保育に欠ける児童

利用人数 2,477名

緊急対応実績 13件（うち 宿泊5件）

(7) その他の事業

①学習支援

- ・学童クラブの小学生を対象にぼによ塾（国語・算数・英会話・ピアノ）を運営。保育中に各教室に参加できるということで参加者も多く、毎年、ニーズも高いが、今後はぼによ+の活動の中に組み入れて実施する予定である。

日時	月曜日・木曜日	ピアノ
	火曜日	国語
	水曜日	算数
	木曜日	英会話
場所	横浜市磯子区東町 9-9 2階・4階	
主な従事者人員	4名	
対象者	小学生・中学生・高校生・大学生 等	
参加人数	のべ 2,215名（算数 664名・国語 652名・ピアノ 351名・英会話 548名）	

②市民活動・相談窓口事業

- ・横浜市市民活動支援課から委託を受け、認定NPO法人としてこれから市民活動を始めようとしている団体や活動をしている団体の相談等を受け付ける事業を開始。今年度は11月から開始し、電話相談が2件寄せられ、必要な助言・情報提供を行った。

日時	月曜日～金曜日	10:00～17:00
場所	横浜市磯子区東町 9-9	
主な従事者人員	2名	
対象者	地域の市民活動団体・NPO法人等	

<主な行事> ※大きな行事や行政との連携を中心に記載。

- 4月1日(月) 入社式・入所式・花見・防災訓練
自立援助ホーム開所
- 4月18日(木) 横浜市児童相談所所長会議にて活動説明(中央児童相談所)
- 4月22日(月) 自立援助ホーム全国協議会 ホーム長研修(市ヶ谷アルカディア)
- 4月23日(火) 磯子区NPO連絡会
- 4月27日(土) カナカツ一周年イベント
- 5月15日(水) 横浜市こども子育て会議
- 5月24日(金) 金沢区民児協総会にて活動説明(金沢区公会堂)
- 5月25日(土) 不登校セミナー
- 5月29日(水) 教育連絡会議(教育相談センター)
- 5月30日(木) 南部地域若者支援連絡会
- 6月1日(土) 県教委主催 不登校相談会(神奈川県青少年センター)
- 6月3日(月) 磯子区NPO連絡会
- 6月10日(月) 理事会
- 6月12日(水) 磯子区子育て支援連絡会
- 6月15日(土) ぽによぽによ学童クラブ保護者会
- 6月17日(月) 横浜子ども支援協議会
- 6月17日(月) 市社協児童福祉部会
- 6月21日(金) 総会
- 6月23日(日) 思春期セミナー(つづきMYプラザ)
- 6月24日(月) 思春期セミナー(つづきMYプラザ)
- 6月28日(金) 臨時理事会・臨時総会(役員の再任)
- 6月29日(土) 不登校セミナー
- 7月1日(月) 児童相談所との意見交換会(横浜市役所)
- 7月4日(木) 磯子区発達障害児・者地域支援ネットワーク連絡会「はっちネット」
- 7月8日(月) つどい全体連絡会
- 7月24日(水) 広場Bブロック会議
- 7月25日(木) 南部地域若者支援連絡会 研修会
ぽによぽによ学童クラブ 合宿
- 7月26日(金) //
- 7月27日(土) 不登校セミナー
- 7月30日(火) はっちネット学習会
- 8月1日(木) 神奈川新聞花火大会 花火鑑賞
- 8月20日(火) 磯子ひろば連絡会・根岸滝頭地区子育て支援連絡会
- 8月22日(木) カナカツワークショップ
- 8月24日(土) K2夏祭り、ハニカフェオープニングパーティ
- 8月25日(日) 県教委主催 不登校相談会
- 8月27日(火) 根岸・滝頭地区子育て支援連絡会
- 8月31日(土) 不登校セミナー・カナカツ花火鑑賞会
- 9月2日(月) 児童福祉司会にて活動説明(西武児童相談所)
- 9月3日(火) 磯子区NPO連絡会
- 9月9日(月) 児童福祉部会
- 9月11日(水) 磯子区子育て支援連絡会
- 9月12日(木) はっちネット
- 9月14日(土) フリフリフリマ・北部児童相談所一時保護所内覧会
- 9月24日(火) 横浜市子ども子育て会議
- 9月26日(木) 南部地域若者支援連絡会

9月28日(土) 不登校セミナー
9月30日(月) 磯子区NPO連絡会
10月5日(土) いそご地域活動フォーラム(磯子区役所)
市教委主催 保護者のつどい(技能文化会館)
10月12日(土) 向山小児科音楽会
10月19日(土) 金沢区民まつりいきいきフェスタ出店
10月23日(水) 横浜こども支援協議会
10月26日(土) 不登校セミナー
10月28日(月) 自立援助ホーム全国大会(品川プリンスホテル)
10月29日(火) 自立援助ホーム全国大会
11月2日(土) 秋の親子フェスティバル
11月7日(木) はっちネット・児童福祉部会
11月13日(水) 拠点連絡会
11月19日(火) 根岸・滝頭地区子育て支援連絡会
11月30日(土) 不登校セミナー
ぽによぽによ学童クラブ保護者会・入所説明会
12月13日(金) 南部地域若者支援連絡会 研修会
12月16日(月) 金沢区寄り添い事業スタート
12月23日(月) K2クリスマスフェスタ
12月28日(土) 不登校セミナー
1月7日(火) 横浜こども支援協議会
1月11日(土) 不登校セミナー
1月18日(土) 教育実践フォーラム
1月21日(火) 横浜いろは塾 開所
1月24日(金) 横浜いろは塾 内覧会
1月25日(土) 不登校セミナー
ぽによぽによ学童クラブ入所説明会
1月27日(月) 磯子区子育て支援連絡会
1月30日(木) はっちネット
2月5日(水) 磯子区NPO連絡会
2月12日(水) 自立支援協議会
2月18日(火) 磯子ひろば連絡会
2月22日(土) ぽによぽによ学童クラブ入所説明会
不登校セミナー
2月27日(木) 南部地域若者支援連絡会
3月15日(土) ぽによぽによ学童クラブ保護者会
3月16日(日) 代々木高校サテライト校 卒業式
3月17日(月) 児童福祉部会
3月22日(土) 不登校セミナー
3月26日(水) カナカツ春まつり

<助成実績>

- * 神奈川県委託事業 フリースペース等事業費補助金（不登校相談）
- * 児童自立生活援助事業 自立援助ホーム
- * 横浜市地域ユースプラザ事業（よこはま南部ユースプラザ）
- * 横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 金沢区青少年の地域活動拠点
- * 金沢区寄り添い型学習等支援事業（横浜いろは塾）
- * 横浜市補助事業 親と子のつどいの広場(子育てスポットくすくす)
- * 横浜市放課後児童健全育成事業（ぽによぽによ学童クラブ）
- * いそごふれあい助成金
- * 磯子まつりイベント助成金